

第29回日本医学会総会 2015 関西



医学と医療の革新を目指して
—健康社会を共に生きるきずなの構築—

名 称

第29回日本医学会総会 2015 関西

会 頭

井村 裕夫（京都大学名誉教授、元京都大学総長）

副 会 頭

本庶 佑（京都大学名誉教授）
山岸 久一（京都府特別参与、前京都府立医科大学学長）
平野 俊夫（大阪大学総長）
高井 義美（神戸大学医学部特命教授）
森 洋一（京都府医師会会長）

準備委員長

三嶋 理晃（京都大学副学長・病院長）

幹 事 長

平井 豊博（京都大学）

顧 問

横倉 義武（日本医師会会長）
坂本 すが（日本看護協会会長）
山本 信夫（日本薬剤師会）
湊 長博（京都大学医学部研究科長）
吉川 敏一（京都府立医科大学学長）
塩田 浩平（滋賀医科大学学長）
橋本 信夫（国立循環器病研究センター理事長・総長）
乾 賢一（京都薬科大学学長）
我部山 キヨ子（京都大学医学部教授）

主催機関

○主 催：日本医学会

○実行機関：第29回日本医学会総会 2015 関西

○主務機関：京都大学医学部、京都府立医科大学、大阪大学医学部、神戸大学医学部、滋賀医科大学、大阪市立大学医学部、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学、関西医科大学、大阪医科大学、近畿大学医学部、兵庫医科大学、国立循環器病研究センター、京都府医師会、大阪府医師会、兵庫県医師会、滋賀県医師会、奈良県医師会、和歌山県医師会

○協力機関：日本病院会、日本医療法人協会、全国自治体病院協議会、全日本病院協会、日本精神科病院協会、日本薬剤師会、日本薬学会、日本医療薬学会、日本ジェネリック医薬品学会、日本看護協会、日本看護科学学会、日本看護管理学会、日本老年看護学会、日本在宅ケア学会、日本地域看護学会、日本循環器看護学会、日本歯科医師会、日本歯科医学会、日本診療放射線技師会、日本放射線技師教育学会、日本放射線公衆安全学会、日本理学療法士協会、理学療法科学学会、日本作業療法士協会、日本職業リハビリテーション学会、日本臨床工学技士会、日本臨床衛生検査技師会、日本栄養士会、日本摂食・嚥下リハビリテーション学会、日本介護福祉士会、日本介護福祉学会、日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本医療社会福祉協会、日本保健医療福祉連携教育学会、日本がん看護学会、日本医療社会福祉学会、日本認知症ケア学会、日本精神障害者リハビリテーション学会

○後 援：日本医師会、日本学術会議、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、総務省、環境省、京都府、京都市、大阪府、奈良県、滋賀県、和歌山県、兵庫県、神戸市、公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー、京都商工会議所、神戸商工会議所、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、京都新聞社、神戸新聞社、日本放送協会（NHK）、毎日放送、朝日放送、テレビ大阪、関西テレビ、読売テレビ、KBS京都、エフエム京都、サンテレビジョン、ラジオ関西、Kiss FM KOBE、ラジオNIKKEI

医学と医療の革新を目指して

—健康社会を共に生きるきずなの構築—

基本理念

日本の経済成長を支えてきた団塊の世代が引退し始め、わが国はかつての人間社会が経験したことのない超高齢社会に突入しつつあります。減少傾向にある生産人口が、増加していく高齢者をどう支えるのか、医療、介護、年金などの面で大きな問題となりつつあります。少子超高齢社会のための医学・医療をどのように構築していくのかという喫緊の課題は、避けて通ることができないにもかかわらず、その解決法は見えていません。また、戦後のわが国で大きな成果を挙げてきた国民皆保険制度も、どうすればそれを持続可能なものにできるのか、すべての国民により良い医療を提供できるのか衆知を集めて考える転換期を迎えています。

いまこそ国民一人ひとりが、自分の、あるいは周囲の人々の健康をどう守るのか、どのような死生観を持つのかを考えなければなりません。より質の高い幸せな老後とは何か、いたずらに延命措置に頼ることなく、人生の最期をどう迎えるのかを考える必要があります。さらに限られた資源で多くの人の健康を守れるよう、医療の効率化も進めなければなりません。そのためには医療者と国民が強いきずなを築き、協力して幸福な社会を実現していかなければなりません。

医学の面で重要な課題は、再生医療、内視鏡手術など現在の先端医療をさらに進めると同時に、将来の方向として先制医療に目を向けなければなりません。先制医療とは、ゲノム研究やバイオマーカー（病気の進行の程度を示す指標）などの成果を生かして、種々の病気を発症前に診断し、介入治療することにより、発症を防止ないしは病状を軽減しようとする新しい医療のコンセプトです。個人情報保護に十分配慮しながら、究極の医療の実現に向けて努力しなければなりません。

こうした医学と医療の転換点において、このたびの日本医学会総会では従来とは異なる新しい方向を打ち出していきたいと考えています。それは大学・病院の勤務医、開業医、医学生、多くのメディカル・スタッフ、そして一般市民が集い、医学・医療が直面している課題について開かれた議論ができる場を提供します。また多くの人々、とくに未来を支える青少年に最新の医学の成果を紹介する場としたいと考えています。幸福な少子超高齢社会の実現のための「医学と医療の革新を目指して」、いままさに「健康社会を共に生きるきずなの構築」ができるよう、医療者と国民が職種を超え世代を超えて共に考え共に行動することが望まれています。

日本医学会総会の沿革

回次	開催年	開催地	総裁宮	会頭	副会頭	準備委員長	登録者
第1回	明治35年	東京	小松宮殿下	田口 和美	北里柴三郎	岡田和一郎	1,797
第2回	明治39年	東京	閑院宮殿下	北里柴三郎	大澤岳太郎	片山 國嘉	2,400
第3回	明治43年	大阪	梨本宮殿下	青山 胤通	佐多 愛彦	緒方 正清	3,397
第4回	大正3年	東京	伏見宮殿下	大澤 謙二	本多 忠夫	金杉英五郎	2,028
第5回	大正7年	東京	閑院宮殿下	緒方 正規	金杉英五郎	岡田和一郎	2,296
第6回	大正11年	京都	賀陽宮殿下	荒木寅三郎	伊藤 隼三	和辻 春次	3,331
第7回	大正15年	東京		佐藤 三吉	岡田和一郎	北島 多一	3,488
第8回	昭和5年	大阪		佐多 愛彦	楠本長三郎	河野 徹志	7,020
第9回	昭和9年	東京		入澤 達吉	長與 又郎	宮川 米次	5,717
第10回	昭和13年	京都		森島 庫太	戸田 正三	星野 貞次	5,385
第11回	昭和17年	東京		長與 又郎	宮川 米次	東 龍太郎	6,233
第12回	昭和22年	大阪		楠本長三郎	佐谷 有吉	岡川 正之 吉松 信寶	3,963
第13回	昭和26年	東京	天皇陛下行幸	田宮 猛雄	柿沼 晃作	内村 雇之	18,318
第14回	昭和30年	京都		松本 信一	木村 廉	後藤 光治	30,018
第15回	昭和34年	東京	天皇皇后両陛下下行幸啓	内村 雇之	小林 芳人 緒方 富雄	三木威勇治	30,523
第16回	昭和38年	大阪		今村 荒男	小沢 凱夫 細谷 雄二	堂野前維摩郷 副：堀三津夫	32,259
第17回	昭和42年	名古屋		勝沼 精蔵	神田 善吾 萩野御太郎	橋本 義雄	26,694
第18回	昭和46年	東京		沖中 重雄	牛場 大蔵 (上田 英雄)	中尾 喜久	22,066
第19回	昭和50年	京都		平沢 興	中村 恒男 岡本 道雄	脇坂 行一	15,624
第20回	昭和54年	東京	常陸宮同妃両殿下御成	樋口 一成	高安 久雄 塚田 裕三	上田 泰 副：丸毛英二	16,422
第21回	昭和58年	大阪		吉田 常雄	山村 雄一 大和田國夫	阿部 裕	18,432
第22回	昭和62年	東京	皇太子同妃両殿下行啓	中尾 喜久	阿部 正和 森 亘	高久 史麿	18,872
第23回	平成3年	京都		岡本 道雄	佐野 晴洋 佐野 豊	井村 裕夫	32,585
第24回	平成7年	名古屋		飯島 宗一	加藤 延夫 武内 俊彦	齋藤 英彦	28,946
第25回	平成11年	東京	天皇皇后両陛下下行幸啓	高久 史麿	伊藤 正男 吉岡 守正 小泉 明	矢崎 義雄	26,125
第26回	平成15年	福岡	皇太子殿下行啓	杉岡 洋一	平野 実 片山 仁	名和田 新	33,154
第27回	平成19年	大阪		岸本 忠三	山本研二郎 野田起一郎 北村惣一郎	堀 正二	25,274
第28回	平成23年	東京	天皇陛下 (おことば※)	矢崎 義雄	小川 秀興 開原 成允 鈴木 聰男	永井 良三	登録・参加者 21,962 (内特別企画 3,006)
第29回	平成27年	関西		井村 裕夫	本庶 佑 山岸 久一 平野 俊夫 高井 義美 森 洋一	三嶋 理見	

※学術講演DVDに文書によりおことばを収載

会場と会期

1 学術講演

会期	2015年4月11日(土)～4月13日(月)
会場	国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都、 京都大学百周年時計台記念館、京都大学医学部芝蘭会館
内容	「医学と医療の革新を目指してー健康社会を共に生きるきずなの構築ー」の メインテーマに基づいた学術講演プログラムを企画編成いたします

2 学術展示

会期	2015年4月10日(金)～4月13日(月)
会場	京都市勧業館「みやこめっせ」、国立京都国際会館
内容	医学・医療関係者に最新の医療技術と情報サービスなどを紹介する展示

3 公開展示

会期	2015年3月28日(土)～4月5日(日)
会場	神戸国際展示場 ほか
内容	一般社会に医学・医療を理解していただくための情報を発信・提供する展示

4 医学史展

会期	2015年2月11日(水・祝)～4月12日(日)
会場	京都大学総合博物館
内容	一般市民に医学史・医学教育史を紹介する展覧会

5 医総会WEEK

会期	2015年4月4日(土)～4月12日(日)
会場	京都劇場、メルパルク京都 他京都駅周辺
内容	医学会総会開催意義の市民向けの啓蒙、告知

日程

2015年(平成27年)		式典	学術講演	学術展示	公開展示	医学史展	医総会WEEK
2月	11日(水・祝)						
3月	28日(土)						
	29日(日)						
	30日(月)						
	31日(火)						
4月	1日(水)						
	2日(木)						
	3日(金)						
	4日(土)						
	5日(日)						
	6日(月)						
	7日(火)						
	8日(水)						
	9日(木)						
	10日(金)						
	11日(土)	開会式					
	12日(日)						
	13日(月)	閉会式					